

事前評価報告書

令和5年9月21日（木）

研究種別	総理研課題	
研究課題名	マルチモーダル観測を用いた侵略的外来種のモニタリングシステムの開発	
研究期間	令和6年度 ～ 令和8年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	3.6
2	研究内容の新規性	3.2
3	研究目標、研究計画の妥当性	3.4
4	研究体制、研究予算の妥当性	3.0
	総合評点	3.3
[評価所見]		
<p>○県内への侵略的外来種の侵入対策が急務となっている、外来種の現状把握は山梨県にとって重要な研究である。</p> <p>○個々の把握手法に新規性は見られないが、5種の多様な観測手法を組み合わせることで様々な外来種の分布状況をモニタリングするシステムに新規性がある。</p> <p>○外来種の影響評価には専門家の参加が必要ではないか。</p> <p>○研究終了後、実際の防除、駆除における体制や仕組みも含めた、研究成果を全国へ発信して欲しい。</p> <p>○生態モニタリングは数十年単位で行うべきであると思われるので、研究終了後のことも言及すべきである。</p>		